

1 題材名 リズムアンサンブルをつくろう

2 本題材の目標

- (1) 音やフレーズのつなげ方の特徴に気付くとともに、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を用いてリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。
- (2) 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて、思いや意図をもつ。
- (3) 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を用いて二声のリズムアンサンブルをつくることに興味・関心をもち、主体的・協働的に音楽づくりの活動に取り組み、様々な音楽との関わりを通して呼びかけとこたえや音楽の縦と横との関係に親しむ。

3 指導事項との関連

A表現 (3) 音楽づくり ア (イ), イ (イ), ウ (イ)

[共通事項] (1) ア

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「リズム」「呼びかけとこたえ」「音楽の縦と横との関係」)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①知 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。 ②技 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を用いて、リズムアンサンブルをつくっている。	思① 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	態① 呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係に興味・関心をもち、まとまりを意識した音楽づくりを楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしている。

5 題材について

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領（平成29年3月）第2章第2節音楽第3学年及び第3学年A表現(3)音楽づくりア(イ), イ(イ), ウ(イ)を受けた内容である。音楽づくりについての知識を得たり技能を得たり生かしたりしながら、音を音楽へと構成する活動を通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつことを主なねらいとしている。

本題材では、「呼びかけとこたえ」、「音楽の縦と横との関係」を用いて、二声のリズムアンサンブルつくる活動をペアで行う。まず、即興的な活動を通して、いろいろな音の組み合わせの特徴に気付き、音楽づくりの発想を得る。そして、それを生かして、音を音楽へと構成する活動を行う。実際にリズムアンサンブルをつくり、再生してみることを通して、呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係を理解し、その働きによるよさや面白さに気付き、どのようなにまとまりを意識して音楽をつくるのかについて思いや意図をもつことができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童に対して、音楽づくりの実態調査（令和2年7月実施、第4年*組,*人）を行ったところ、音楽づくりは難しいと答えた児童は,*人であった。その理由として、「音符が読めない」、「何をすればいいのかわからない」などの記述があった。そこで、リズムの組み合わせについて、即興的な活動では、四分音符や八分音符、付点八分音符などを組み合わせて、リズムをつくる活動を行った。児童は、音楽づくりの即興的な活動を通して、「いろいろなリズムがつくれて楽しい」、「ワクワクするリズムがあって面白い」など、音楽のよさや面白さを感じることができた。しかし、鑑賞で歌劇「魔笛」から「パパゲーノとパパゲーナの二重唱」を聴いたとき、二つのパートが呼びかけとこたえになっていたり、重なる部分があったりすることはわかるけれども、それらのよさや面白さについては気付いていないことがわかった。音楽づくりの過程の中で、「呼びかけとこたえ」、「音楽の縦と横との関係」に何度も触れることで、違いを実感し、それに伴いよさや面白さに気付き、音楽表現を工夫する力を育成したい。

(3) 指導観

呼びかけとこたえ、音楽の縦と横との関係といった音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴が生み出すよさや面白さに気付くためには、音楽づくりを実際に行って実感を伴った気付きを得ることは必要であると考え。指導に当たっては、二声のリズムアンサンブルづくりで用いるリズム・パターンを4種類にし、即興的な活動を通してリズムの特徴に触れる。リズム・パターンを4種類にし、即興的な活動でも共通のリズム・パターンを用いることで、楽譜が読めない児童でも、音楽づくりに取り組めるようにする。また、リズム・パターンの音源も準備する。児童が音楽表現を工夫する過程

として、音楽の仕組みを知ったり、確認したりする学習、ペアで試行錯誤する学習、他のペアと交流する学習、個に戻って振り返る学習を設定する。児童がこれらの学習で、音楽の仕組みを知り、そのよさや面白さに気付くことと、音楽表現を工夫することを関連付けることが大切であると考え。これらの、気付く場面と工夫する場面をつなぐ手立てとして、リズム・パターンカードを活用する。色分けしたリズム・パターンカードを用いることで、音楽の仕組みを知ったり、確認したりする場面と音楽表現を工夫する場面を関連付けることができると考える。

6 題材の指導計画（5時間扱い）

次	時	学習内容・活動	知	技	思	態	評価方法・留意点等
一	1	<p>目標：「呼びかけとこたえ」が生み出すよさや面白さを、即興的な活動を通して感じ取り、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>【即興的な活動】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">かけ合いをしよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 1 題材の学習の流れを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ストンプ」(just clap your hands)を観る。 ・音楽づくりを行うことを伝える。 2 「まね」をして手拍子を打つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生のまねをする。 ・友達のまねをする。 ・つくったリズムについて、話し合う。 3 「こたえ」をして手拍子を打つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生にこたえる。 4 ペアで「まね」「こたえ」を即興で行う。 5 振り返りを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">例：かけ合いにもいろいろな種類がある。かけ合いは、話をしているみたいでおもしろい。おにごっこしているみたい。</div>	○		○		<p>①知：「まね」や「こたえ」について、理解していない児童には、色分けしたリズムのカードを提示し確認しながら、一緒に即興活動を行う。</p> <p>思①：何に気を付けて手拍子を打ったのかが言えない児童には、考えの例のテンプレートを提示する。</p> <p>【観察】</p>
	2	<p>目標：「音楽の縦と横との関係」が生み出すよさや面白さを、即興的な活動を通して感じ取り、音楽づくりの発想を得る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">おいかけっこをしよう</div> <p>【即興的な活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「おいかけっこ」について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・「かえるの歌」を示し、「おいかけっこ」について確認する。 2 「おいかけっこ」を手拍子で打つ。 3 「クラッピングファンタジー」を聴いたり、楽譜で確認したりして、ずれを確認する。 4 リズムアンサンブルづくりで用いるリズム・パターンでずれを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生とおいかけっこをする。 ・ペアでおいかけっこをする。 ・クラッピングファンタジーを演奏して、確認する。 5 振り返りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">例：二人でずれると、面白くなる。自分が演奏していないときに間に入るのが面白い。</div>	○				<p>①知：同じリズムがずれに気付かない児童にム・パターンのカードを提示し、構造を視覚的にわかるようにする。【観察】</p>

<p>二 3</p>	<p>目標：「呼びかけとこたえ」，「音楽の縦と横との関係」を用いて，リズムアンサンブルをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「かけ合い」と「おいかけっこ」を使ってリズムアンサンブルをつくろう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 音楽づくりのルールを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ AとBをつくる。二つは，違う感じのものにする。 ・ 最後ABAかBABで合わせる。 ・ 「かけ合い」と「おいかけっこ」のどちらも必ず使う。 ・ つくりたい場面を考える。 2 ペアで音楽づくりを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リズム・パターンのカードで楽譜にする 3 つくった音楽について工夫したことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のペアと話し合う。 ・ 全体で話し合う。 5 個で振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットに工夫を書き込む。 ・ 振り返りカードを書く。 6 振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例：かけ合いを使って，楽しく話している感じにした。 おいかけっこを使って，おいかけている感じをだした。</p> </div>	○	○	<p>①知：「かけ合い」や「おいかけっこ」がわからないペアには，色分けしたリズム・パターンのカードで表したヒントカードを提示する。 【観察】</p> <p>態①：リズム・パターンが分からず主体的に活動できない児童には，リズム・パターンを音源で提示する。 【観察】</p>
<p>4</p>	<p>目標：「呼びかけとこたえ」，「音楽の縦と横との関係」を用いてリズムアンサンブルをつくり，音楽表現を工夫する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 リズムアンサンブルづくりのルールの再度確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>リズムアンサンブルを工夫してつくろう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2 ペアで活動する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の振り返りを確認する。 ・ 「かけ合い」や「おいかけっこ」をなぜ使うのか，話をする。 3 つくった音楽について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 他のペアと話し合う。 ・ 全体で話し合う。 ・ 「かけ合い」や「おいかけっこ」の使い方について <ul style="list-style-type: none"> ・ AとBの違いについて 4 ペアで工夫する。 5 振り返り <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットで撮った画像を確認する。 ・ 個で振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例：かけ合いだけ，呼びかけとこたえだけでつくと，まとまった感じがする。 AとBをちがう感じにするために，片方だけをつかってつくった。 話をし，けんかして，仲直りしたことをリズムアンサンブルにした。</p> </div>	◎	○	<p>思②：工夫したことを言葉にできない児童には，考えたことと，工夫したことがつながる言い方のひな型を提示する。 【観察】</p> <p>①知：【ワークシート】 【作品への書き込み】</p>

5	<p>目標：「呼びかけとこたえ」、「音楽の縦と横との関係」を用いて、全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもち、音楽表現を工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>リズムアンサンブルづくりで工夫したことは何だろう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 つくったA, Bの組み合わせを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ABAかBABのどちらか 2 工夫したことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パビリオン形式で発表する。 ・工夫したことを発表して演奏する。 ・発表はタブレットで録画する。 3 振り返りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・個で工夫したことを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例：まねやおいかげっこをつかってつくってみたい音楽がくれた。 まねやおいかげっこなど、いろいろ試してみた。</p> </div>	◎	◎	<p>◎ 思②：【ワークシート】 【作品への書き込み】</p> <p>◎ ②技：【作品】</p> <p>◎ 態①：【発言・作品・ワークシート】</p>
---	--	---	---	---